

1 単元名 バドミントン（ネット型：球技）

2 単元の目標

- 勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能を高めてゲームが展開できるようにする。また、相手の動きに応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空間を作り出すなどの攻防を展開できるようにする。（技能）
- 球技に主体的に取り組むとともに、相手を尊重したプレイを行い、役割を積極的に引受け自己の責任を果たそうとすること、チームや自己の課題解決に向けて合意形成に貢献しようとする。（態度）
- チームや自己の課題解決に適した目標を設定し、技術向上につながる合理的な練習を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。（知識、思考・判断）

3 単元の指導について

(1) 教材観

球技は、ボールなどを媒介として、集団対集団、個人対個人で攻防を展開し得点を取り合って勝敗を競うことをねらいとし、チームの課題や自己の能力に適した課題の解決に取り組んだり、ゲームを楽しんだりする運動である。その中でもバドミントンは、1対1や2対2でネットを挟んで相手と向かい合い、ラケットを操作して様々な打球を打ち、いかに相手コートに落とすか、そして得点を重ねていくかを競い合う「ネット型」の運動であり、攻守の切り替えが非常に速いという特徴がある。

(2) 生徒の実態（男子**名，女子**名 合計*名）

体力テストの結果はA*%，B*%，C*%，D*%，E*%と体力的に低い生徒が多いが、体育の授業には積極的に取り組み、運動意欲は高い傾向にある。アンケート調査によると、前年度から継続してバドミントンを選択した生徒が大半ではあるが、基礎的な技能が身に付いていないと答えた生徒が多い現状である（各種フライトが全て打てる*%，ほぼ打てる*%，少しは打てる*%）。3学年ということで、積極的に生徒同士のコミュニケーションは行える状態である。

(3) 指導観

指導にあたっては、ラリーを中心に授業を進め、ラケット操作や打球の打ち方を覚えさせる。また、簡易ゲームを通して、空間を作り出す戦術を学習させる。

4 単元及び学習活動に即した評価規準

	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ●球技の学習に主体的に取り組もうとしている。 ●仲間と協力し、互いに助け合い高め合おうとしている。 ●グループで必要な役割を作り、責任を持って自己の役割を果たそうとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●チームや自己の課題に適している目標を設定している。 ●チームの仲間の技術的な課題や有効な練習方法について指摘している。 	<ul style="list-style-type: none"> ●ネット型では、空いた場所をめぐる攻防を展開するための役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きを身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ●技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。 ●課題解決の方法について、理解したことを言ったり書き出したりしている。

	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
学習活動に即した評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ①球技の学習に◎主体的に取り組もうとしている。 ②◎仲間と協力し、課題解決に取り組もうとしている。 ③グループ内での自己の役割を果たしグループ活動がスムーズに行えるよう◎常に責任を果たしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①◎積極的に自己や仲間に適した目標や課題を設定しようとしている。 ②◎仲間と協力し、課題に合った有効な練習方法を選択している。 	<ul style="list-style-type: none"> ①◎常に安定して打ち返すことのできる、ラケット操作ができる。 ②◎常に各種フライトが意図的に打つことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①試合の一般的なルール、各種フライトの名称について◎詳しく理解している。 ②課題解決の方法を正しく理解し◎積極的に発言している。

◎は十分満足できる状況

5 指導と評価計画 (15 時間扱い) 本時は○印

段階	時間	学習のねらい・活動	評価計画			
			関	思	技	知
はじめ	1	○オリエンテーションを行う。 ○バドミントンの道具を使った体ほぐしの運動を行う。	①			
		1 オリエンテーションを通して、学習の進め方を知る。 2 学習を共に進めるグループを決める。 3 ウォーミングアップを行う。 4 ラケットとシャトルを使った、体ほぐしの運動を行う。				
なか	2	ねらい①バドミントンの基礎的な技能の学習を進める。 ○基本的なラケットの使い方、シャトルの打ち方を学習する ○各種フラインクの技能を学習する。	③		①	
	3	1 ラケット、シャトルを使った体ほぐしの運動を行う。 2 基本的なラケット操作を学習できるラリーゲームを行う。	②	①		
	④	3 各種フラインクが打てるよう、ペアで練習を行う。 ・ペア・グループで競い合い、互いに課題を伝え合う。	②		①	
	5	4 ゲーム ・ミニゲームを行い、ペア・グループで競い合いながら技能が習得できるようにする。		②	①	
	6	4 ゲーム ・グループ内で試合を行う。		②	①	
	7					①
	8	ねらい②仲間と協力し、バドミントンの戦術的な学習を進める。 ○各種フラインクを使った、戦術の組み立て方を学習する。			②	②
なか	9	1 ラケット、シャトルを使った体ほぐしの運動を行う。 2 各種フラインクごとのラリーゲームを行う。			②	②
	10	3 各種フラインクを組み合わせた半コートを使ったゲームを行う。 ・相手を前後に動かす戦術をグループで確認し合う。	③			
	11	4 ダブルスでのゲームを行う。 ・グループ内で運動観察、審判など役割を決め、円滑にゲームが行えるようにする。	③	②		
	12	5 ゲームの反省から課題を見付け、グループごとに練習する。 ・互いに課題を見付け、課題解決に有効な練習方法を選択する。	③	②		
	13	○リーグ戦を通して、試合の進め方を学ぶ。		②		②
まとめ	14	1 ウォーミングアップ 2 課題練習 3 リーグ戦 4 振り返り		②		②
	15			②		②

6 本時の学習

(1) 本時のねらい

- グループで協力して、それぞれの課題に取り組もうとしている。 (関心・意欲・態度)
- ミニゲームを通してヘアピンの技能を学習する。 (技能)

(2) 展開 (4 / 15)

	学習内容・活動	指導上の留意点	評価の観点, 方法
はじめ	1 挨拶, 整列, 出欠確認	・体調の確認や生徒の表情を注意深く観察する。(出欠確認)	
	2 準備運動		
5分	3 本時の内容を確認		
	○ ミニゲームを通して、ヘアピンの技能を学習する。		

<p>な か 35 分</p>	<p>4 シャトルリフティング競争</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シャトルをフォアハンドでリフティングしながらコート時計回りに一周する。 ・シャトルをバックハンドでリフティングしながらコート反時計回りに一周する。 <p>5 ヘアピンの行い方、有効性について説明を聞く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・得意な生徒が実演する。 <p>6 グループに分かれてヘアピンの練習を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペアを組み、半コートのネット際のみ(図1の赤いマーカーの中)のラリーを行う。 ・半コートのネット際のみで5点マッチのヘアピンゲームを行う。 <div data-bbox="263 952 523 1120" style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">図1</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・周りの競争相手を意識させる声かけを行い、積極的に運動に取り組めるよう促す。 ・体をほぐさせながら、シャトルの動きやラケット操作に慣れるよう助言する。 ・お互いに気付いた点などを教え合うよう声をかける。 <p>◇ラケットの面の向きや、シャトルを打ち上げる高さなど、具体的な援助を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一つのコートに生徒を集め、手本となる生徒の実演を見させながら説明する。 <ul style="list-style-type: none"> ・お互いに気付いた点などを教え合うよう声をかける。 ・速やかにグループごとに活動できるよう、赤いマーカーを配り、図1のようにヘアピンゲーム用のコートを設置するよう促す。 ・ラリー練習では、シャトルがネットの高さより30cm以内でラリーが続けられるよう声かけをする。 ・ヘアピンゲームでは、試合が終わるごとに対戦相手をローテーションで変えるよう促す。 <p>◇ラケットを短く持ち、正確にシャトルとガットが当たるように援助する。</p>	<p><関心・意欲・態度②></p> <ul style="list-style-type: none"> ・◎<u>仲間と協力し</u>、課題解決に取り組もうとしている。 <p><技能①></p> <ul style="list-style-type: none"> ・◎<u>常に安定して打ち返すこと</u>のできる、ラケット操作ができる。
<p>ま と め 10 分</p>	<p>7 整理運動を行う。</p> <p>8 グループごとに本日の反省、次回の課題を話し合う。</p> <p>9 用具の片付けをする。</p> <p>10 本時のまとめ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康観察 ・授業の振り返り ・次回の授業確認 <p>11 整列・挨拶</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・グループごとに整理運動を行うよう声かけをする。 ・本日の課題を再度確認し、達成できたかどうかを話し合い、次回の課題を考えるよう促す。 ・速やかに各自の役割をこなし、片付けを済ませるよう声かけをする。 <ul style="list-style-type: none"> ・けがの有無を確認する。 ・グループの代表者に反省を聞く。 ・まとめ 	

◇は努力を要する状況にある生徒への手立て